

平成28年度 第2学期 始業式式辞

平成28年9月1日（木）

皆さんおはようございます。こうして皆さん元気な姿を見ることができ、本当に嬉しく思います。

夏休み中は 学習や部活動などに一生懸命取り組んだという人は多いと思います。補習や学習合宿に参加する生徒や個人的にも職員室前の廊下で先生に相談している生徒をよく見ました。多くの運動部で合宿等も計画していましたし、それぞれの部で熱心に練習を重ね、真剣勝負の場に臨むという体験をしました。そして結果もついてきているという報告も受けています。

また、今年もオープンハイスクールで発表したり、ボランティアスタッフとして活躍してくれた人も大勢います。大学見学や花を植えるなどの地域貢献活動、インターンシップとして県の施設や事業所等学校外での体験をした人もたくさんいます。

皆さんのが自分自身の意志で取り組んだということに大変意味があります。そのような経験をし、それぞれに学びがあったと思います。Seeing is believing. という英語のことわざがあります。百聞は一見にしかず、自分で見たこと、経験した事は、必ず皆さんの内面にしっかりと蓄積されて、自信となって、それとともに、その時感じた満足感、嫌なことや大変な事を乗り越え克服した達成感、色々な人のふれあいの中で生まれた感動や感謝の気持ちなどが、これから大人になっていく人生の心の支えとなります。私はできるだけ多くの感動や体験を皆さんにして欲しいと思っています。今後も皆さんのが活動し、活躍できる場やチャンスをもっともっと増やしていくと考えています。

ただ、実際には、そう毎日毎日、体験活動や感動する経験はできるものではありません。そこで、「物語」の大切さが出てきます。1学期の終業式にもお話ししましたね。覚えていましたか？

本を読んで、活字から色々な自分とは違った世界を頭の中にイメージするということです。本を読んで考えたことや感じたことは、必ずや皆さんの内面に、実際の経験と同様に蓄積されていくはずです。心もトゲトゲとがらずに、丸く安定して、穏やかに考える事ができるようになります。自分の進路を考え実現させる上で大きく左右する人間性に、よりよい影響を与えてくれるでしょう。

2学期が始まります。1, 2年生の諸君は、是非、本や新聞などの書かれたものをしっかりと読んで、考えるということを継続して取り組んでください。3年生は何と言っても、進路実現のための大切な時期です。「あせらず、やすまず、あきらめず」です。きちんと自分で情報を得て、安易に妥協せず、しっかりと考え方続け、最後までふんばって進路先を固めていってください。

以上で2学期始業式の式辞とします。